

アーカイブ Data Report

NO. 154

(2022年1月20日)

〒500-8813 岐阜県岐阜市明徳町10番地 杉山ビル5F

E-mail: shikaku@npo-nak.com URL: https://npo-nak.com

NPO 日本アーカイブ協会・岐阜女子大学*・沖縄女子短期大学・学習システム研究会

(* 岐阜女子大学デジタルアーカイブ専攻・研究所、沖縄サテライト校)

CM I システムの処理機能の向上と教育実践での活用の多様化

後藤 忠彦、佐藤 正明、横山 隆光 (岐阜女子大学)

1. CM I システムのデータ処理

①1970年代には初期のCM IシステムにマークカードやDISKなどのデータ入力や保管機能が向上したことにより、多様で大量のデータが入力・保管できるようになった。このことはデータ保管のみならず高度な解析処理につながり、当時、SIS-TEM IIIと呼ばれた次のような体系が構築された。

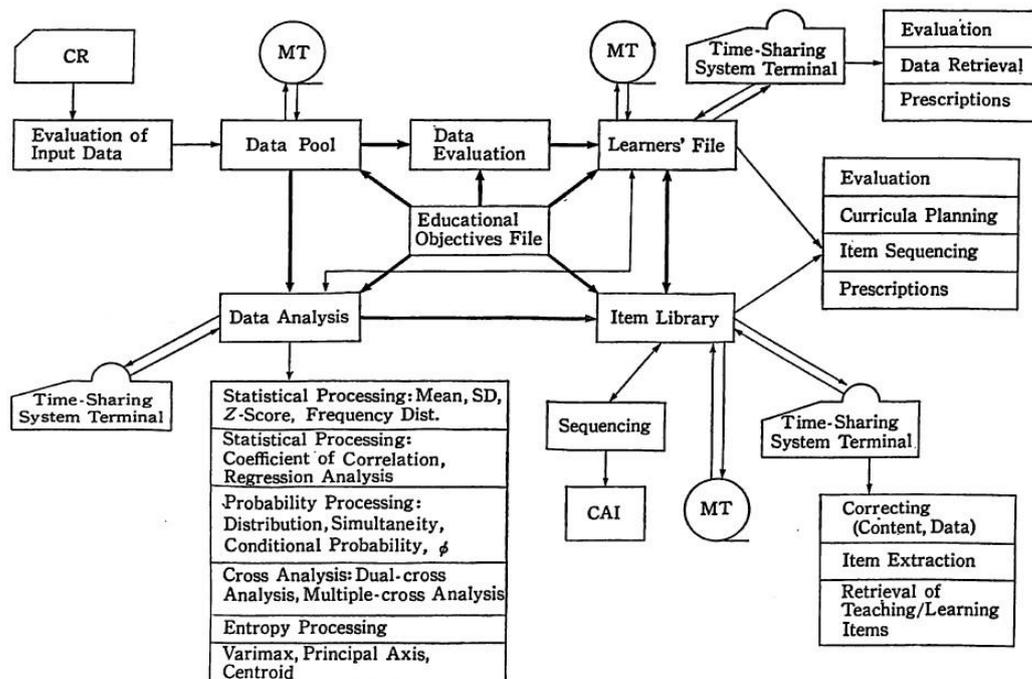


Fig. 1. SIS-TEM III.

SIS-TEM III—A Computer-Based Educational System, Educ. Technol. Res., 4, 47-60, 1980

<多項目処理>

- ・正答率
- ・同時分布
- ・同時確率
- ・ ϕ 係数 (最大値・最小値)
- ・条件確率
- ・正答者・誤答者の流れ

<二重クロス>

- ・同時分布
- ・同時確率
- ・ ϕ 係数 (最大値・最小値)
- ・条件確率
- ・ χ^2 値

<三重クロス>

- ・同時分布
- ・同時確率
- ・確率ヒストグラム
- ・エントロピー
- ・条件確率

このほかに、一般的な数量データの事項、分析、相関、多変量解析等の処理がなされていた。

